

## 平成 25 年度越谷市外部評価実施結果【概要】

### 1. 実施概要

学識経験者、公認会計士、行政経営コンサルタント等の有識者 6 人が、2 人ずつ 3 班に分かれ、それぞれ 10～11 事業ずつ、計 32 事業（一部の事業に計 15 の補助金等が含まれる）について、平成 25 年 10 月 2 日・3 日に公開ヒアリングを実施した。

評価対象事業は、内部評価の結果を踏まえて一定の基準で抽出した事業及び各所管課から提案のあった事業について、行政経営推進本部会議を経て、市長決裁により確定した。

ヒアリング時間は 1 事業 40 分とし、冒頭に各事業の所管課担当者から事業内容等について 10 分程度の説明を受けたうえで、質疑応答を行った。

その後、各所管課より追加説明の要請があった事業等から越谷市が選定した 12 事業について、平成 25 年 10 月 17 日に公開再ヒアリングを実施し、その結果も踏まえ、外部評価結果を確定した。

### 2. 外部評価実施結果

評価対象事業の総合評価結果及び補助金等の評価区分結果は下表の通りである。

No.	事業番号	事業名	内部評価結果	外部評価結果	補助金等	内部評価結果	外部評価結果
1	13	広域行政事業	A	B			
2	24	総合行政情報化推進事業	B	B			
3	57	市税等徴収事務事業	A	B			
4	77	コミュニティ推進事業	B	C	・コミュニティづくり助成金 ・地区まちづくり助成金	継続	継続
5	78	集会施設整備事業	B	B	・集会施設整備事業補助金	継続	継続
6	96	自主防災組織育成事業	B	B	・自主防災組織育成費補助金	継続	継続
7	98	消費者啓発事業	B	B	・くらしの会補助金	継続	継続
8	119	地域福祉計画推進事業	B	B			
9	144	障がい者就労支援事業	B	C			
10	146	成年後見制度利用支援事業	B	B			
11	156	助け合いの仕組みづくり事業	B	B			
12	175	老人福祉センター運営事業	B	B			
13	208	子育て支援事業	B	B			
14	232	家庭保育室事業	B	B	・家庭保育室補助金	継続	継続
15	252	児童館コスモス運営事業	B	C			
16	254	児童館ヒマワリ運営事業	B	C			
17	258	急患診療所施設管理事業	B	B			
18	260	機能訓練事業	C	D			
19	272	再生可能エネルギー利用促進事業	B	C	・太陽光発電設備設置費補助金	継続	終期設定
20	279	地球温暖化対策推進事業	B	B	・雨水貯留槽設置費等助成金	継続	廃止
21	293	資源回収奨励補助金交付事業	B	B	・資源回収奨励補助金	減額(縮小)	減額(縮小)
22	294	資源物分別収集事業	B	B			
23	319	葛西用水ウッドデッキ事業	B	C	・観光協会補助金	継続	継続
24	336	農道整備事業	B	B			
25	341	道路管理システム事業	B	B			
26	379	水洗便所普及啓発事業	A	C	・水洗便所改造資金利子補給金	継続	廃止
27	398	公共交通(バス等)事業	B	B	・ノンステップバス導入促進事業費補助金	継続	継続
28	435	住宅融資事業	B	D	・老人居室整備資金利子補給金 ・浸水住宅改良資金利子補給金 ・勤労者住宅資金利子補給金	減額(縮小)	廃止
29	451	日本文化伝承の館運営事業	B	C			
30	504	小・中学校仮設教室借上事業	B	B			
31	525	小・中学校教師用指導書等整備事業	B	B			
32	567	救急救命士養成事業	B	B			

内部評価と外部評価の結果を対比すると下表のとおりとなる。

【事業について】

内部評価結果		外部評価結果			
評価	事業数	A	B	C	D
A	3	0	2	1	0
B	28	0	20	7	1
C	1	0	0	0	1
D	0	—	—	—	—
計	32	0	22	8	2

【補助金等について】

内部評価		外部評価				
区分	補助金等件数	継続	減額(縮小)	廃止	終期設定	統合・メニュー化
継続	11	8	0	2	1	0
減額(縮小)	4	0	1	3	0	0
廃止	0	—	—	—	—	—
終期設定	0	—	—	—	—	—
統合・メニュー化	0	—	—	—	—	—
計	15	8	1	5	1	0

出典) 新日本有限責任監査法人作成

全体を通じて、「必要性」に関する課題、即ち、ニーズや現状の問題点の把握が不十分であるとの指摘が多く見られた。また、全体を通じて、成果の把握が不十分であるという趣旨の指摘も比較的多く見られた。

### 3. 今後の検討課題

外部評価を通じて確認された課題や得られた知見等をもとに、越谷市行政評価制度の最終目標である「市民満足度の向上」に向けて、今後の外部評価の更なる充実及び行政評価制度・行政経営システムの発展の在り方について検討・整理すると、以下のポイントが挙げられる。

- ・外部評価の目的・意義の明確化、啓発
- ・外部評価者への事前の資料提供促進、傍聴者増加策等、外部評価実施方法の改善
- ・評価対象としての事業の括り方(単位)の見直し
- ・事務事業評価表のフォーマットの改善、記入内容の精度向上
- ・事業のニーズ把握、必要性の説明の重視
- ・活動指標及び成果指標の見直し
- ・総合評価類型の再定義等の見直し
- ・効率性向上の取組みの促進

越谷市では、「行政経営システム」実現のため、計画、予算、評価等の個々の行政運営の仕組みについて、改善に取り組んできた。その取組みの蓄積をもとに、今後、行政経営システムを進化させることが可能と考えられる。「大綱・施策体系図」の改良、「大綱・施策体系」と予算・決算体系・行政評価体系の整合(単位の一体化)、会計情報の充実化等を行うことが、越谷市における行政経営システムの進化に有効と考えられる。